

5. 男女共同参画について

(1) 家庭生活での男女の地位の平等感

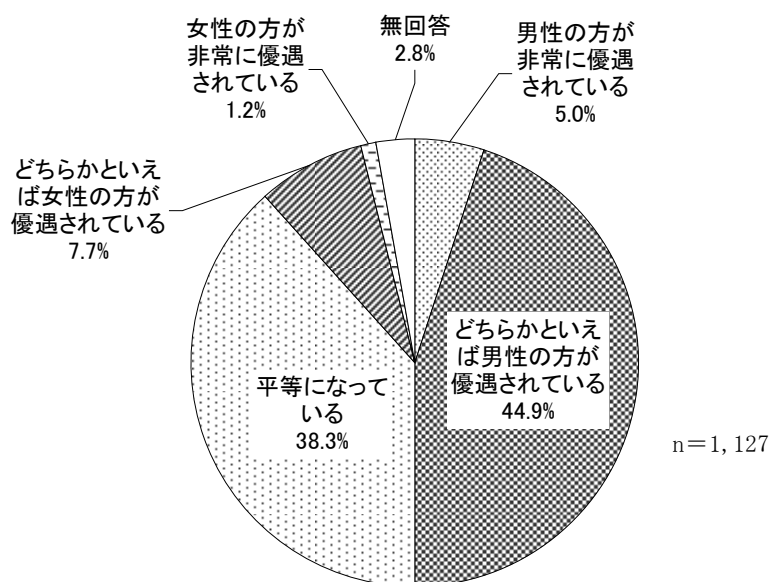
◇【男性優遇（計）】はほぼ5割, 「平等」は4割近く, 【女性優遇（計）】は1割に満たない

問 14 現在, 家庭生活上で男女の地位は平等になっていると思いますか。(○は1つ)		n = 1, 127
1	男性の方が非常に優遇されている	5.0%
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている	44.9
3	平等になっている	38.3
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている	7.7
5	女性の方が非常に優遇されている	1.2
	(無回答)	2.8

現在, 家庭生活上で男女の地位は平等になっていると思うか聞いたところ, 「男性の方が非常に優遇されている」(5.0%)と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(44.9%)を合わせた【男性優遇（計）】(49.9%)はほぼ5割となっている。「平等になっている」(38.3%)は4割近くで, 「どちらかといえば女性の方が優遇されている」(7.7%)と「女性の方が非常に優遇されている」(1.2%)を合わせた【女性優遇（計）】(8.9%)は1割に満たない。

(図IV-5-1)

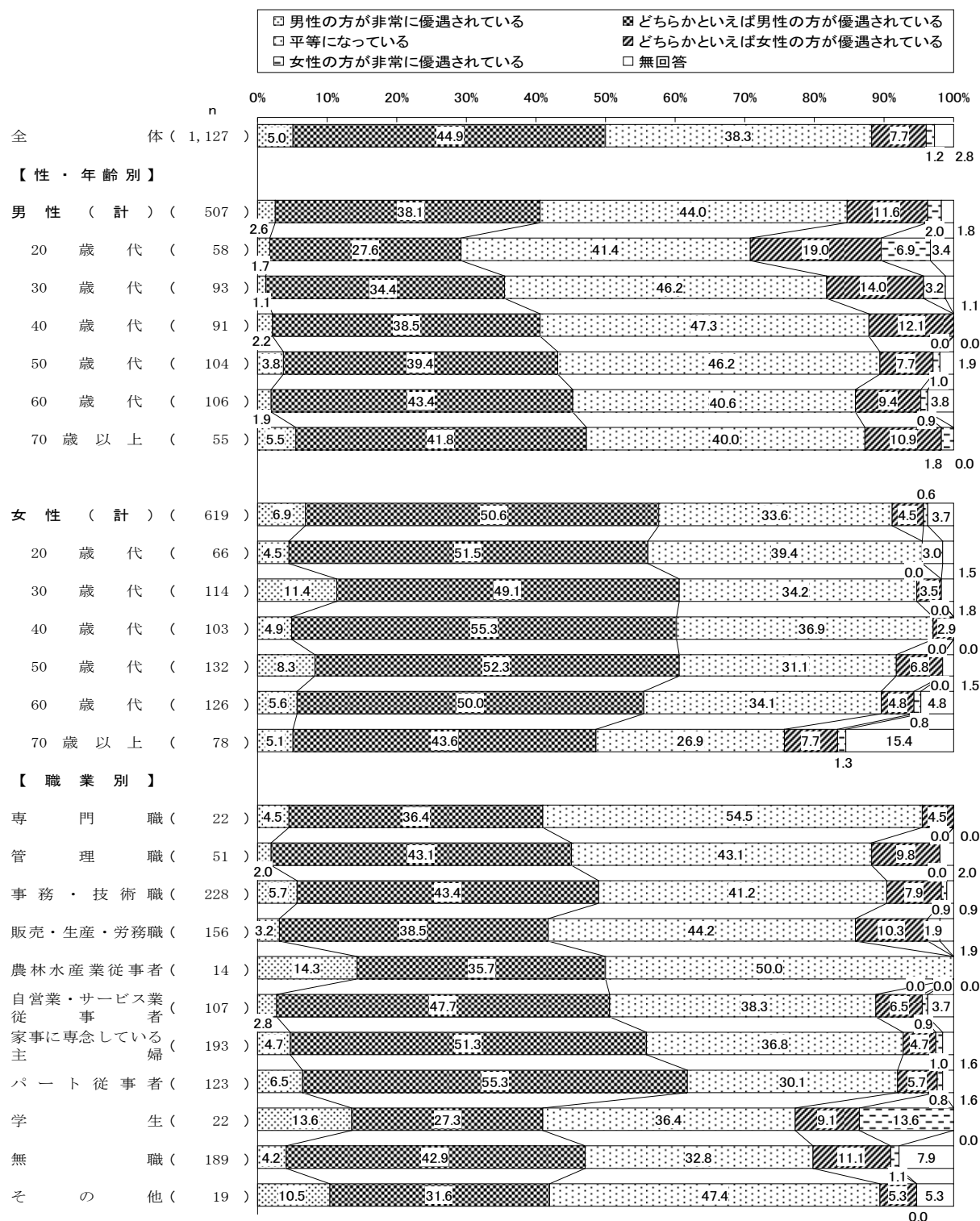
<図IV-5-1>全体



性・年齢別で見ると、【男性優遇（計）】は<女性/50歳代>（60.6%）、<女性/30歳代>（60.5%）、<女性/40歳代>（60.2%）でほぼ6割となっている。一方、【女性優遇（計）】は<男性/20歳代>（25.9%）で2割台半ばとなっている。（図IV-5-2）

職業別で見ると、【男性優遇（計）】は<パート従事者>（61.8%）で6割を超えている。一方、【女性優遇（計）】は<学生>（22.7%）で2割を超えている。（図IV-5-2）

<図IV-5-2>性・年齢別/職業別



(2) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の認知度

◇「言葉も内容も知っている」は2割近く

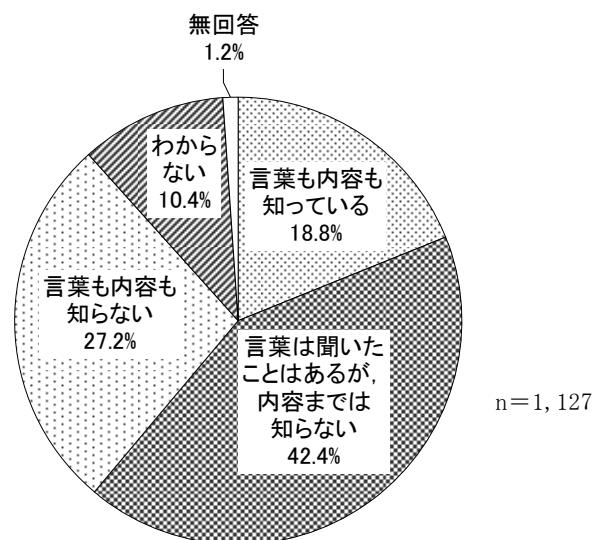
問 15 あなたは、「仕事と生活の調和」すなわち「ワーク・ライフ・バランス」という言葉について、どの程度知っていますか。（○は1つ）

	n = 1, 127
1 言葉も内容も知っている	18.8%
2 言葉は聞いたことはあるが、内容までは知らない	42.4
3 言葉も内容も知らない	27.2
4 わからない	10.4
(無回答)	1.2

「仕事と生活の調和」すなわち「ワーク・ライフ・バランス」という言葉について、どの程度知っているか聞いたところ、「言葉は聞いたことはあるが、内容までは知らない」（42.4%）は4割と最も多く、「言葉も内容も知っている」（18.8%）は2割近くとなっている。

一方、「言葉も内容も知らない」（27.2%）は3割近くとなっている。（図IV-5-3）

<図IV-5-3>全体

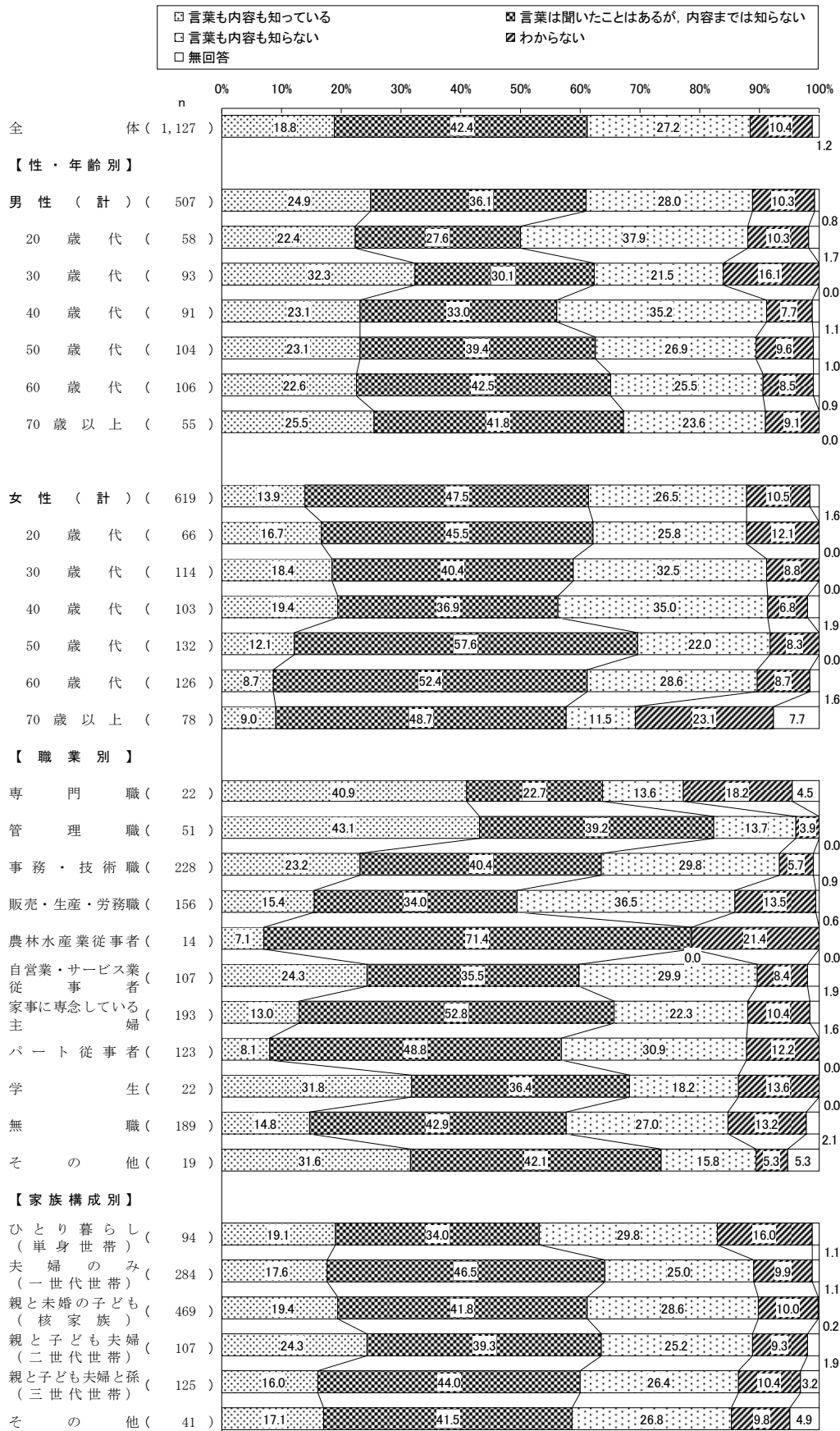


性・年齢別で見ると、「言葉は聞いたことはあるが、内容までは知らない」は<女性/50歳代> (57.6%)で6割近くとなり、<女性/60歳代> (52.4%)で5割を超えている。「言葉も内容も知らない」は<男性/20歳代> (37.9%)でほぼ4割となり、<男性/40歳代> (35.2%)、<女性/40歳代> (35.0%)で3割台半ばとなっている。(図IV-5-4)

職業別で見ると、「言葉は聞いたことはあるが、内容までは知らない」は<家事に専念している主婦> (52.8%)で5割を超えている。「言葉も内容も知らない」は<販売・生産・労務職> (36.5%)で4割近くとなり、<パート従事者> (30.9%)でほぼ3割となっている。(図IV-5-4)

家族構成別で見ると、「言葉は聞いたことはあるが、内容までは知らない」は<夫婦のみ(一世代世帯)> (46.5%)で5割近くとなり、<親と子ども夫婦と孫(三世代世帯)> (44.0%)、<親と未婚の子ども(核家族)> (41.8%)で4割を超えている。「言葉も内容も知らない」は全ての世帯で2割台となっている。(図IV-5-4)

<図IV-5-4>性・年齢別／職業別／家族構成別



(3) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）に関する理想と現実

◇【理想】は「仕事と家庭生活と地域・個人の生活のすべて」が4割近く

◇【現実】は「仕事」が2割台半ば、次いで、「仕事と家庭生活」が2割を超える

問 16 生活の中で、仕事、家庭生活（家族と過ごすこと、家事、育児など）、地域・個人の生活（ボランティア活動、社会参加活動、趣味、娯楽など）のうち、何を優先しますか。
【理想】と【現実】について、それぞれ1つずつあてはまる番号に○をつけてください。

	n = 1, 127	【理想】	【現実】
1 仕事		1.5%	25.7%
2 家庭生活		11.8	16.7
3 地域・個人の生活		3.5	2.9
4 仕事と家庭生活		14.9	22.7
5 仕事と地域・個人の生活		4.3	3.0
6 家庭生活と地域・個人の生活		13.4	5.0
7 仕事と家庭生活と地域・個人の生活のすべて		37.0	17.7
(無回答)		13.7	6.3

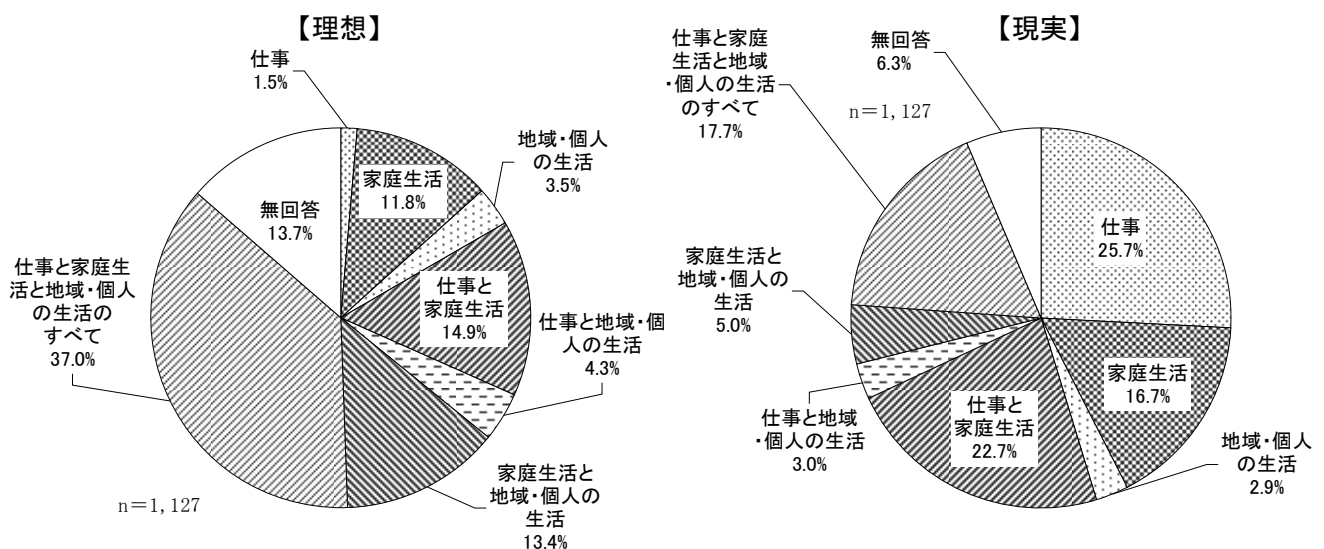
生活の中で、仕事、家庭生活（家族と過ごすこと、家事、育児など）、地域・個人の生活（ボランティア活動、社会参加活動、趣味、娯楽など）のうち、何を優先するかについて、【理想】と【現実】の2つに分けて聞いた。

【理想】は、「仕事と家庭生活と地域・個人の生活のすべて」（37.0%）が4割近くで最も高く、次いで、「仕事と家庭生活」（14.9%）、「家庭生活と地域・個人の生活」（13.4%）、「家庭生活」（11.8%）の3項目がいずれも1割台と続いている。

【現実】は、「仕事」（25.7%）が2割台半ばで最も高く、次いで、「仕事と家庭生活」（22.7%）が2割を超えと続いている。

(図IV-5-5)

<図IV-5-5>全体

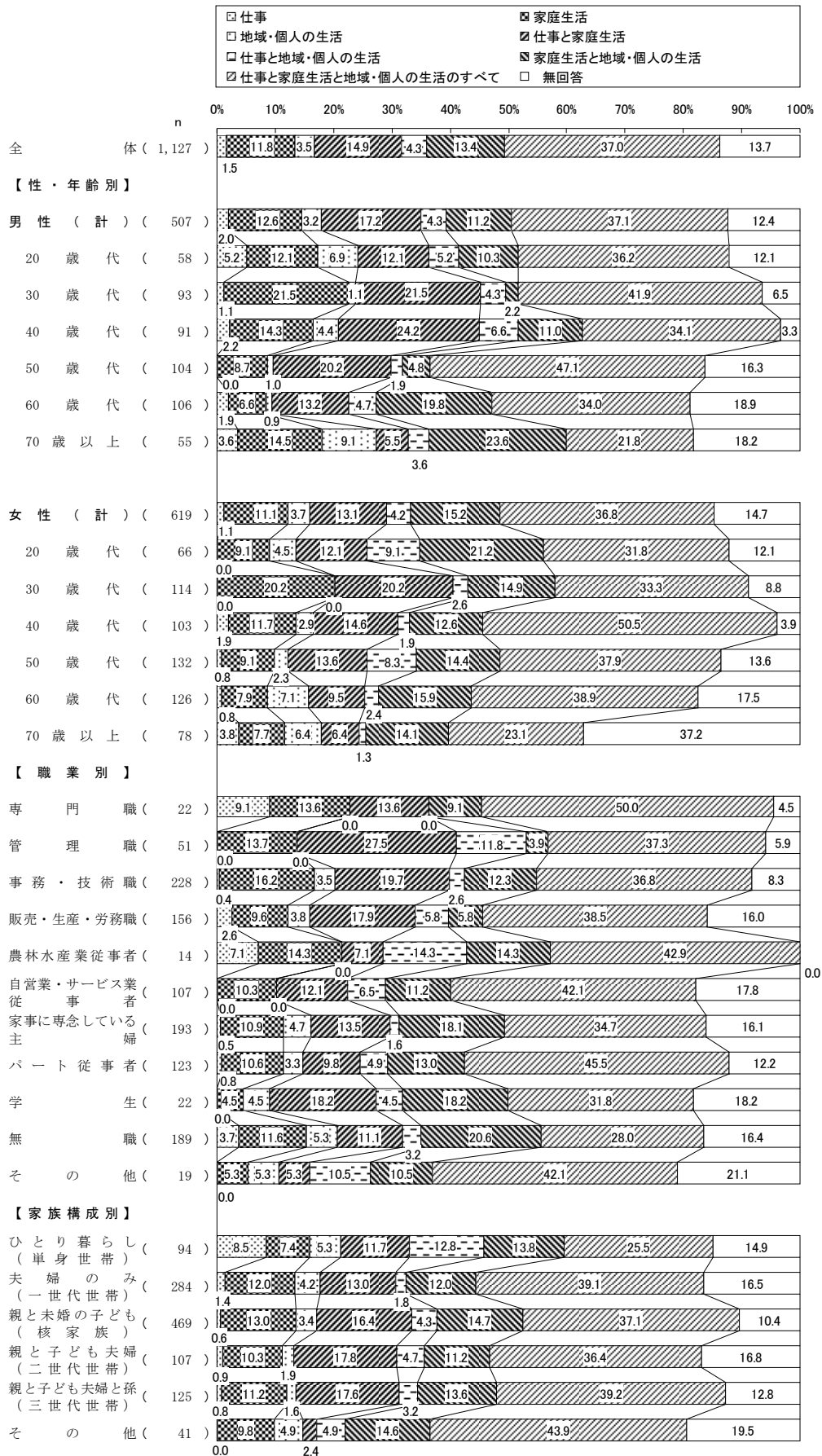


性・年齢別で見ると、【理想】は「仕事と家庭生活と地域・個人の生活のすべて」が＜女性/40歳代＞（50.5%）でほぼ5割となっている。（図IV-5-6）

職業別で見ると、【理想】は「仕事と家庭生活と地域・個人の生活のすべて」が＜パート従事者＞（45.5%）で4割台半ばとなり、＜自営業・サービス業従事者＞（42.1%）で4割を超えている。（図IV-5-6）

家族構成別で見ると、【理想】は「仕事と家庭生活と地域・個人の生活のすべて」が各地域で3割台となっているが、＜ひとり暮らし（単身世帯）＞（25.5%）のみ2割台となっている。（図IV-5-6）

<図IV-5-6>性・年齢別／職業別／家族構成別【理想】

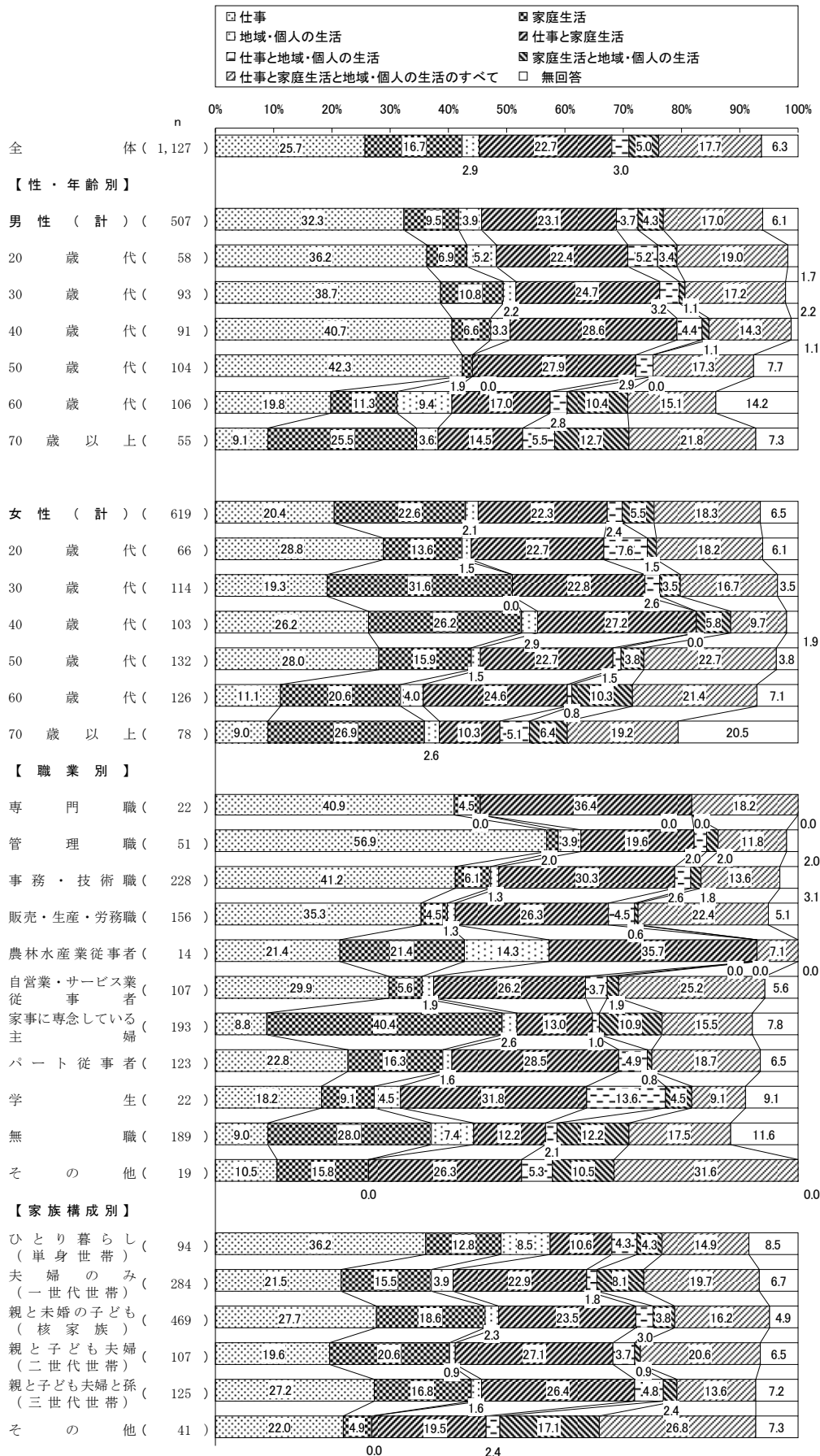


性・年齢別で見ると、【現実】は「仕事」が＜男性/50歳代＞（42.3%）で4割を超えており、＜男性/40歳代＞（40.7%）でほぼ4割となっている。（図IV-5-7）

職業別で見ると、【現実】は「仕事」が＜管理職＞（56.9%）で6割近くとなっている。
（図IV-5-7）

家族構成別で見ると、【現実】は「仕事」が＜ひとり暮らし（単身世帯）＞（36.2%）で4割近くとなっている。（図IV-5-7）

<図IV-5-7>性・年齢別／職業別／家族構成別【現実】



(4) 配偶者からの暴力を受けた経験

◇ “精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた” 経験のある人は 5.4%

問 17 過去2年間に夫や妻, 恋人から, 暴力を受けたことがありますか。次の各項目について, それぞれ1つずつあてはまる番号に○をつけてください。

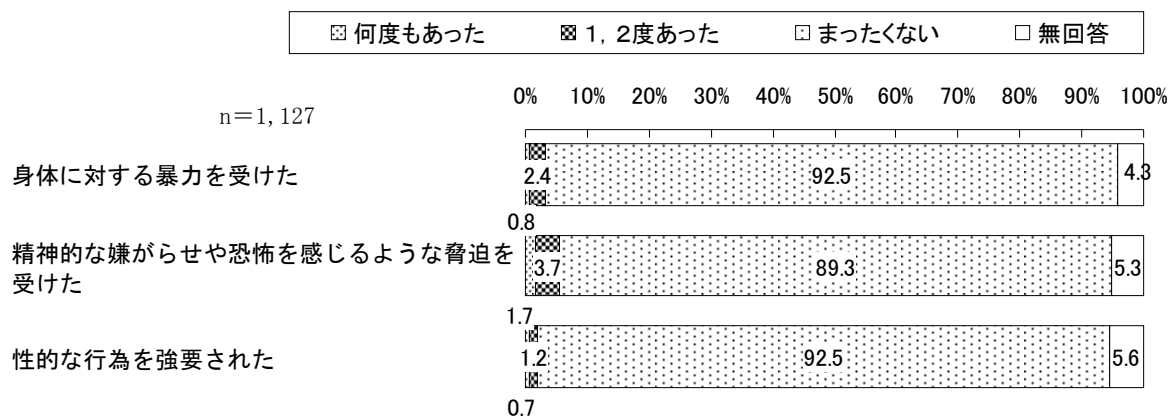
n = 1, 127

項 目	何 度 も あ っ た	1, 2 度 あ っ た	ま っ た く な い	(無 回 答)
身体に対する暴力を受けた	0.8	2.4	92.5	4.3
精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた	1.7	3.7	89.3	5.3
性的な行為を強要された	0.7	1.2	92.5	5.6

過去2年間に, 夫や妻, 恋人から暴力を受けたことがあるか聞いた。

「何度もあった」と「1, 2度あった」を合わせた【経験あり(計)】の割合は, “精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた”(5.4%)が最も高く, 次いで, “身体に対する暴力を受けた”(3.2%), “性的な行為を強要された”(1.9%)となっている。(図IV-5-8)

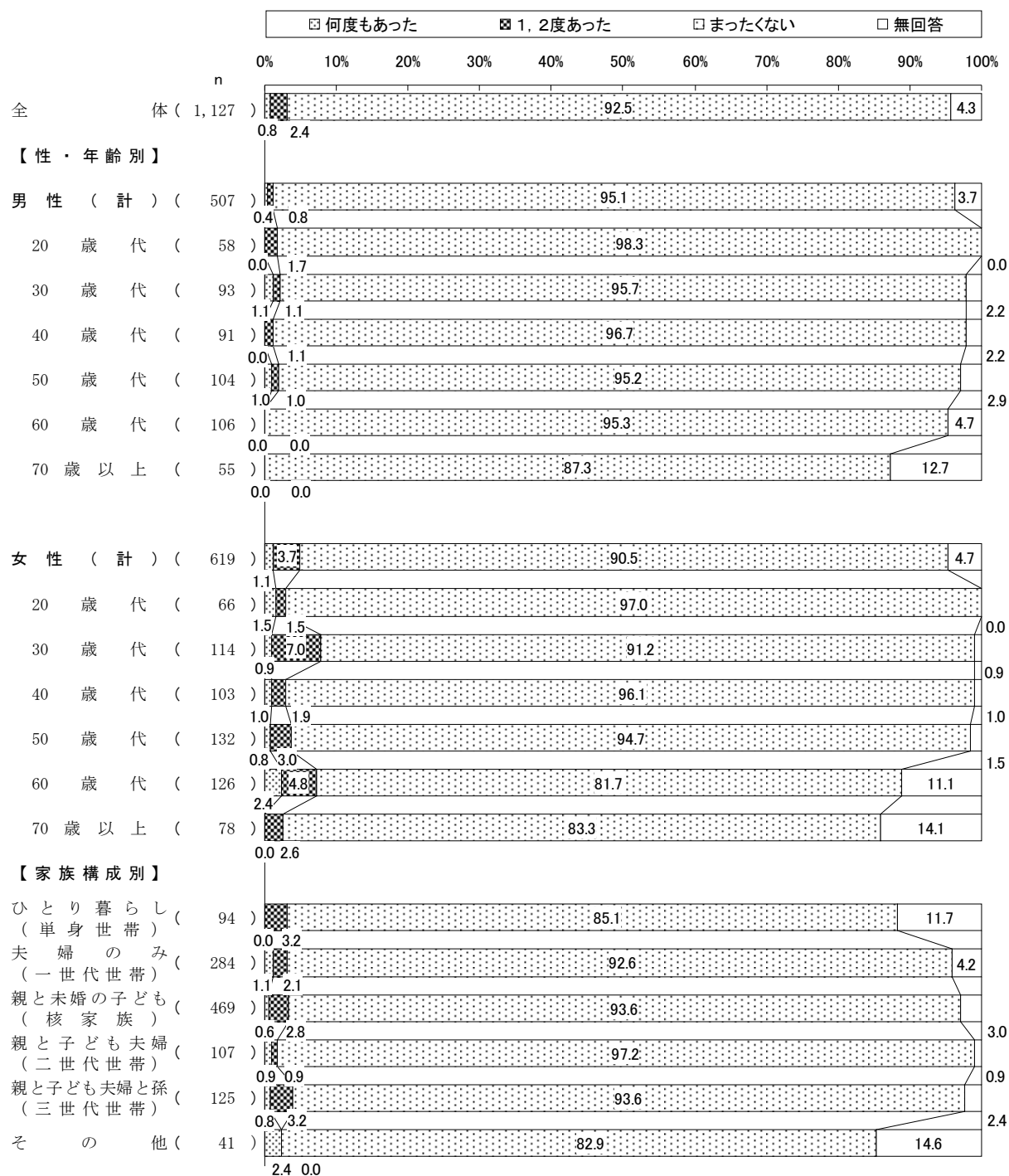
<図IV-5-8>全体



性・年齢別で見ると、身体に対する暴力を受けたことは「まったくない」が<男性/20歳代> (98.3%), <女性/20歳代> (97.0%) で10割近くとなっている。(図IV-5-9)

家族構成別で見ると、身体に対する暴力を受けたことは「まったくない」が<親と子ども夫婦(二世帯世帯)> (97.2%) で10割近くとなっている。(図IV-5-9)

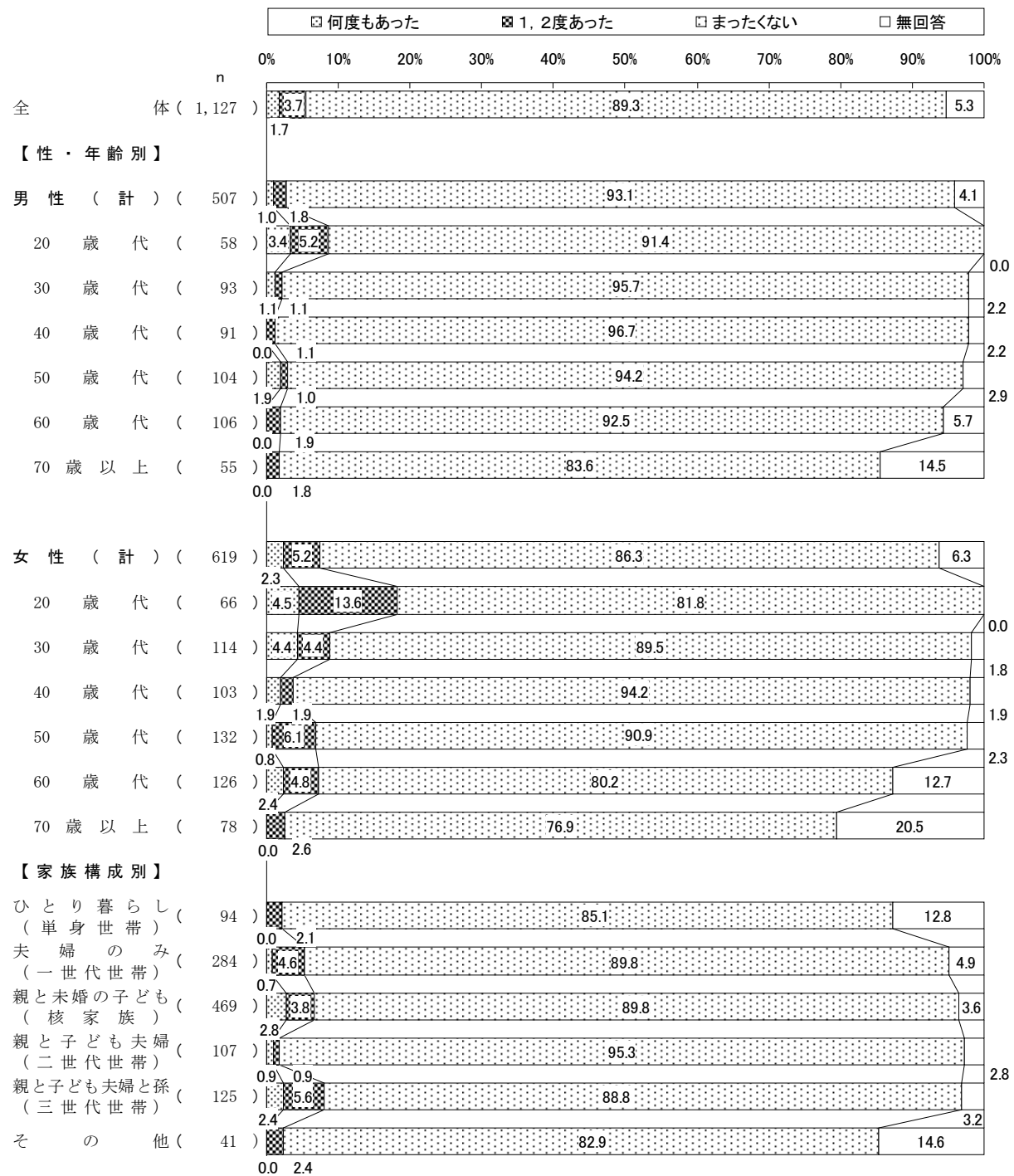
<図IV-5-9>性・年齢別/家族構成別



性・年齢別で見ると、精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けたことは「まったくない」が<男性/40歳代>（96.7%）で10割近くとなり、<女性/40歳代>（94.2%）で9割台半ばとなっている。（図IV-5-10）

家族構成別で見ると、精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けたことは「まったくない」が<親と子ども夫婦（二世帯世帯）>（95.3%）で9割台半ばとなっている。（図IV-5-10）

<図IV-5-10>性・年齢別／家族構成別



性・年齢別で見ると、性的な行為を強要されたことは「まったくない」が<男性/20歳代> (98.3%)で10割近くとなり、<女性/30歳代> (95.6%)で9割台半ばとなっている。(図IV-5-11)

家族構成別で見ると、性的な行為を強要されたことは「まったくない」が<親と子ども夫婦(二世帯世帯)> (95.3%)で9割台半ばとなっている。(図IV-5-11)

<図IV-5-11>性・年齢別/家族構成別

